

20140224

2014年2月24日　日本テレビ 定例記者会見

《 要旨 》

1. 視聴率動向と編成戦略

・視聴率データ

2月第3週（2月17日～2月23日）の視聴率は、全日8.7%、プライムタイム12.5%、ゴールデンタイム12.8%で、週間視聴率「三冠王」を獲得した。

年度の視聴率競争では、全日、ゴールデンではトップを走っているが、プライムは僅差で2位となっている。残り5週、プライムも追いつくことに全力をあげる。

・編成戦略

4月以降のプライムタイム帯では、ドラマ2番組だけを改編する。現在、バラエティー番組が好調であり、レギュラー番組を大事にして戦っていく。今回のソチオリンピック、今後のワールドカップサッカーなど、いつもと違う状況になる期間があり、その時に応じたタイムテーブルで臨むことがあるが、期末期首、年末年始などを除いては、常にレギュラーパーフェクト番組と特番のバランスを取り、特番ばかりの拡大路線は取らない。レギュラーのタイムテーブルは視聴者の皆様とスポンサーとの約束事であり、あくまでもレギュラーパーフェクト番組がメインである。

・ドラマ

1月期は、水曜ドラマが6話終了時点で平均視聴率13.2%、全ドラマの中で2位に付け、土曜ドラマは7話終了時点で5位である。前の10月期に比べてそれぞれ5%を超える、あるいは5%に近い視聴率の底上げをしており、順調に推移している。4月期ドラマも、水曜、土曜ともに強いドラマが揃っている。

2. 営業状況

・放送収入

1月単月の放送収入は、タイムセールス、スポットセールスとも前年同月比100%を超え、比較的好調であった。

タイムは、「高校サッカー」、「箱根駅伝」といった大型特番がスポンサーに支持された。スポットは、1月の売上額が当社にとって歴代2位の結果となり、シェアもトップに立つた。2月も好調に推移しており、3月までこのままでいければ、かなりの好成績が期待できる。

今のセールス状況は、家族全員でご覧いただける番組作りを大きな目標とし、タイムテーブルを改善した成果だと考えている。さらに番組を磨き上げ、品質の良い、多くの方々に支持していただける番組を作ることに徹していく。

・放送外収入

映画は、「ルパン三世 VS 名探偵コナン THE MOVIE」が、公開から79日で興行収入42億円と非常に良い結果を出している。

また、3月1日から、実写版「魔女の宅急便」が公開となる。

イベントは、「日本テレビ開局60年特別舞台 真田十勇士」の舞台が、東京と大阪合わせて観客動員数8万人と期待以上の好成績となった。

3月27日、28日に東京ドームシティホールで、音楽ライブ「ZIP！春フェスタ」を開催するが、このような番組連動のステージも良いものに仕上げ、成功させたい。

3. その他

・水曜ドラマ「明日、ママがいない」

関係団体に文書でお伝えした通り、細部において誤解を生むようなことがないよう、細心の注意を払って番組制作に努めている。担当者はご批判にも肯定的なご意見にも耳を傾けながら、番組を制作している。

このドラマを特に短い期間で作ったということはない。しかし、どの番組においても、出来るだけ早く企画を決め、準備時間を十分に設け、取材を行うことは必要であると考えている。

・「スッキリ!!」気象予報士

「スッキリ!!」に出演していた気象予報士が逮捕されたことは誠に遺憾である。当面は、代理の方に担当していただく予定である。

(了)